

ちくしのクリップ

問 秘書広報課

11/17 悔いのないレスリング人生 新たな未来へ

世界選手権出場と現役引退を報告

本市出身の尾西 大河さんが平井市長を表敬訪問し、レスリングの世界選手権出場と現役引退を報告しました。これまで数々の優秀な成績を残し、本市に何度も表敬訪問に来てくれた尾西さん。これからはお世話になった人やレスリングへ恩返しをしたいと前向きな気持ちを語ってくれました。



これまでのレスリング人生を振り返り、「悔いはないです」と語りました

11/12 17人と1団体が表彰

善行者表彰式

筑紫地区少年愛護連盟は毎年、人命救助やボランティア活動などの善行を行った筑紫地区内の学生を表彰しています。今年は筑紫野市から17人、1団体が選ばれました。市内の中学校5校の生徒会で組織される筑紫野市内五中学校生徒会連合体は、同問題啓発強調月間や人権週間における駅前や商業施設での啓発活動が認められ、表彰されました。



代表として登壇した各中学校の生徒たち

11/21 年末年始の特別警戒の 意識を高める

筑紫地区年末年始特別警戒パトロール隊出陣式

犯罪の増加が懸念される年末年始に向けて特別警戒の意識向上を目的に、市役所前ふれあい広場で筑紫地区年末年始特別警戒パトロール隊出陣式が行われました。平井市長や来賓者による部隊視閲のあと、保育所慈生園の園児によるマーチング演奏の激励を受けたパトロール隊は、白バイを先頭に市内へと出発しました。



警察や消防など多くの人が参加しました

11/15 社会の問題を 若者からの立場で 市民フォーラム

筑紫野市青少年市民会議が主催する市民フォーラムは、中高生が意見を交え伝える場として毎年開催されています。今年は市内の5校の中学校と3校の高校の生徒が「少子化を考える」をテーマに意見を交わしました。また当日は、会場の参加者からも感想や意見をもらい、会場全体で市の未来について考える場となりました。



それぞれの考えを発表する生徒たち

■見出しの二次元コードを読み取ると
イベントの様子を動画でも見ることができます。

11/29 消防の仕事を 楽しく体験

しょうぼうのひろば



筑紫野太宰府消防本部が「しょうぼうのひろば」を開催し、多くの親子連れが参加しました。会場では、水消火器の放水体験や救急法体験、ロープ渡り体験などが行われ、緊急時の対応や消防職員の活動を学びました。また、煙の充満した室内で出口を探す煙中体験や天ぷら油の火災実験では、煙の怖さや火の熱さを、身をもって体験しました。



子どもたちに大人気だった放水体験

11/22-23 芸術と音楽の秋

筑紫野もみじ祭



市内武蔵にある武蔵寺を中心に湯町公民館やつくしちゃんカフェなどで芸術作品の展示や楽器の演奏などさまざまな企画が行われました。また、触れて乗ることができる芸術作品の展示や、画家と一緒に絵を描く参加型の企画もあり、文字通り芸術に触れることのできるイベントとなりました。



乗れる芸術に子どもたちも大喜び

11/30 出たぞ大会新記録

天拝山ロードレース大会



日本陸上競技連盟の公認コースである本大会には、792人のランナーがエントリーし、記録更新や完走などそれぞれの目標達成をめざして走りました。年齢、性別、距離ごとに12種目あり、2種目で大会新記録が更新されました。大会結果は市ホームページに掲載しています。



穏やかな秋晴れの中、駆け抜けるランナー

11/27 災害時の迅速な 生活支援のために

災害時におけるレンタル資機材の提供に関する協定



建設機械などの貸し出しを行う太陽建機レンタル株式会社と協定を締結しました。この協定により、災害発生時に重機や仮設コンテナ、避難所で利用するスポットクーラーや仮設トイレなどのレンタル資機材の支援を優先的に受けることができます。協定式で福岡支店長の清水 康平さんは「この協定が、災害に強いまちづくりの一助につながることを願っています」と話しました。



協定書を持つ平井市長と清水さん(左から2番目と3番目)